

都市再生整備計画

に い は ま え きしゅうへん
新居浜駅周辺地区 第2期

えひめけん に い は ま し
愛媛県 新居浜市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛媛県	市町村名	にいほまし 新居浜市	地区名	にいほましきしゅうへんちく 新居浜駅周辺地区 第2期	面積	53 ha
計画期間	平成24年度～平成28年度	交付期間	平成24年度～平成28年度				

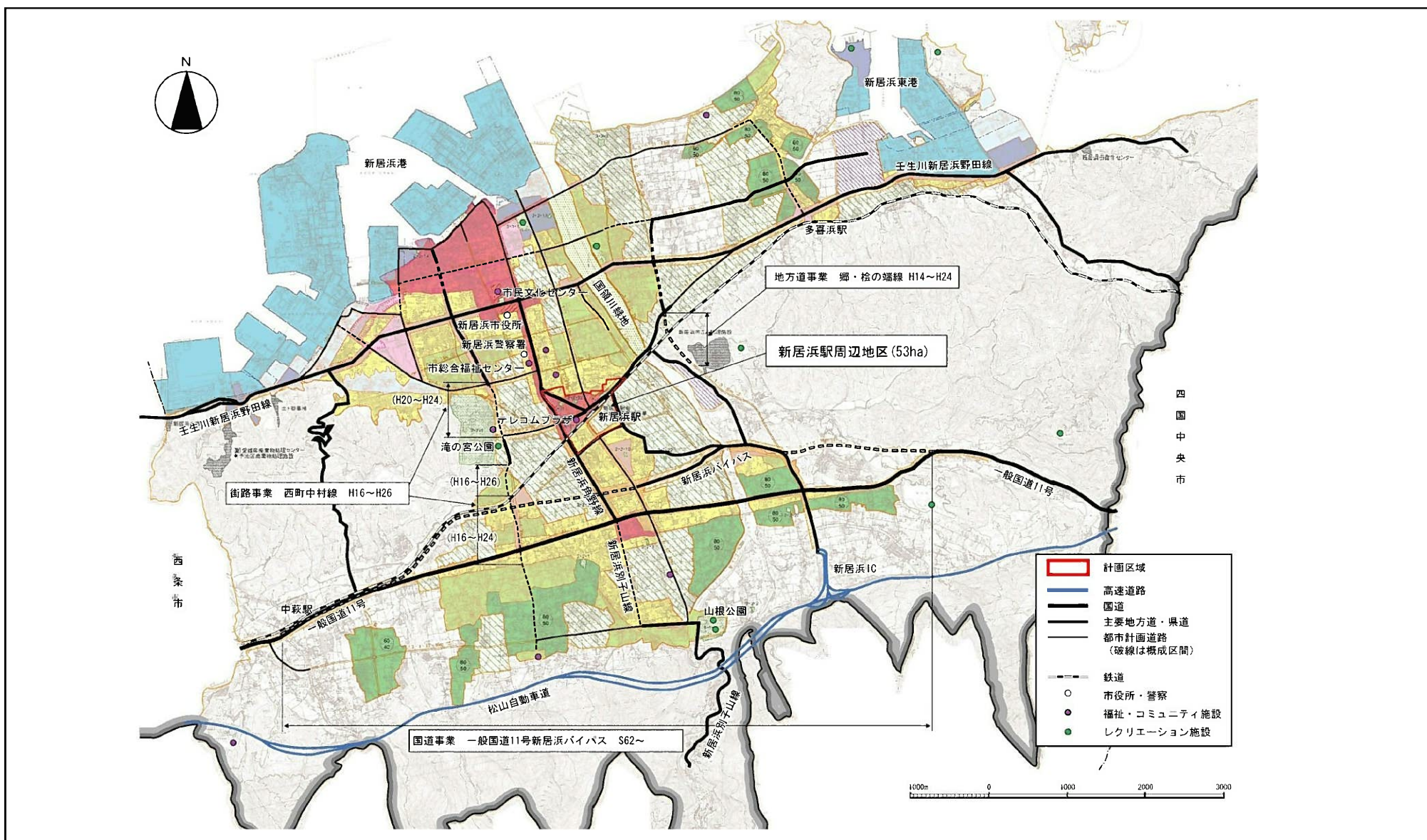
目標 大目標：市の玄関口として様々な人の出会いを演出しつつ、地域資源を生かしたうるおいとにぎわいに満ちたまちづくりを目指す。 目標1：市民や来訪者が集いにぎわう交流の場の実現を図るまちづくり 目標2：便利で移動しやすいまちづくり 目標3：うるおいに満ちたまちづくり							
目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 ＜地区の現況＞ ・新居浜駅は、JRの全列車が停車する人流拠点であり、県内で最もコンテナ取扱量が多い物流拠点である。 ・都市計画用途地域は、駅前の商業地域の他、周辺は住居系用途地域が指定され、駅南側には特定用途制限地域が広がっている。駅の北側は、新居浜駅前土地区画整理事業により都市基盤が整備されている。一方で、駅の南側からは、パーク&ライド等の利用があるが、駅の南北を結ぶ跨線橋は老朽化しており、鉄道駅に近接する立地条件にもかかわらず、駅北側と比べて都市機能の集積が乏しい。 ・南北方向の(都)高木中筋線は、鉄道と立体交差しているが、平成16年の台風で冠水し、道路交通情報の不足とあいまって都市活動に大きな被害をもたらした。 ・新居浜駅北側には緑地やポケットパークが整備されている、また東西約1kmのところには、屋外レクリエーションの場である国領川緑地や滝の宮公園がある。 ＜歴史的経緯＞ ・当該地区は、当時の市街地から離れた位置に新居浜駅を設置したことが始まりである。その後、別子鉱山鉄道(下部鉄道)と新居浜駅との連絡鉄道が敷設され、人流・物流の拠点として機能し始めた。 ＜上位計画における位置づけ＞ ・当該地区は、平成2年の「新居浜市都市基本計画」で新都市拠点として位置づけたことが始まりであり、その後の中心市街地活性化基本計画や長期総合計画等においても都市拠点としての位置づけが継承されている。 ・当該地区では、新都市拠点としてのポテンシャルを向上させるべく、平成11年に「新居浜駅周辺整備構想」を策定すると共に、平成10年から土地区画整理事業に着手しており、平成23年に事業完了した。 ＜近年の取り組み＞ ・「新居浜駅周辺整備構想」の策定から数年が経過し、社会経済状況や市民ニーズの変化等を鑑み、平成17年度から「新居浜駅周辺地区整備計画」の策定に取り組み、整備の方向性や核施設として芸術文化施設に関する検討を行っている。 ・平成20～23年度の4年間で、新居浜駅周辺地区において、都市再生整備計画事業を実施し、「市の玄関口として様々な人の出会いを演出しつつ、地域資源を生かした潤いと活力に満ちた、便利で安心できるまちづくりを目指す。」を大目標に、土地区画整理事業、道路や公園の整備等に取り組んできた。							
課題 ①観光・交流に関する課題 ・新都市拠点の早期実現に向けて、市民や来訪者が市の玄関口として魅力的に感じるよう、今後も住民と行政が一体となって地域資源を生かした、うるおいとにぎわいあるまちづくりを推進していく必要がある。 ②回遊性に関する課題 ・駅南北を結ぶ跨線橋は老朽化しており、快適に移動が行えるよう改善が必要である。 ③交通利便性に関する課題 ・新居浜駅を中心に多くの人が集まる地区として、駅南北の交通施設の整備改善により、利便なまちづくりを推進する必要がある。							
将来ビジョン(中長期) ①新居浜らしい出会いとにぎわいの場としての新都市拠点の形成と都市機能の充実・強化 ②近代化産業遺産等との連携による魅力の向上、及び情報発信機能の充実 ③交通結節点としての機能強化・駅南北の一体性向上							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
交流人口	人/年	市外から市を訪問した人数	賑わいと出会いの場づくりの実現状況を示す指標として、既往調査結果等を基に交流人口を推計する。	2,231,246	平成22年度	2,500,000	平成28年度
駅周辺満足度	%	新居浜駅周辺に対する住民満足度	新居浜駅周辺に対する住民の意識を把握するため、アンケート調査により住民の満足度を算出する。	39	平成23年度	50	平成28年度
駅南側から北側までの車いすでのアクセス時間	分	車いす利用時に、新居浜駅南側から北側までの移動に要する時間	便利で移動しやすいまちづくりの実現状況を把握するため、実測により車いすでの駅南側から北側までのアクセスに要する時間を計測する。	15	平成23年度	2.5	平成28年度
イベント開催回数	回/年	新居浜駅周辺における年間イベント開催回数	にぎわいづくりに関する地元意識の高まりを把握するため、新居浜駅周辺における年間イベント開催回数を計測する。	2	平成23年度	6	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1(市民や来訪者が集い賑わう出会いの場の実現に向けて) ・にぎわいづくりの核となる新居浜駅前大街区へ、市民や来訪者にとっての交流・情報発信の拠点を整備すると共に、施設の有効活用に向けた取組を行う。		・高次都市施設:総合文化施設 ・地域創造支援事業:総合文化施設 ・事業活用調査:事業効果分析調査 ・事業活用調査:駅南地区まちづくり調査 ・まちづくり活動推進事業:まちづくり活動支援
整備方針2(便利で移動しやすいまちづくりに向け) ・JR新居浜駅において、駅南側からのアクセス性向上と南北交通の円滑化や、自転車での利用環境向上を図り、まちの利便性を高める。		・道路:南北自由通路 ・地域生活基盤施設:自転車駐車場(施設のみ) ・地域生活基盤施設:南口広場 ・高質空間形成施設:トイレ
整備方針3(うるおいに満ちたまちづくりに向け) ・うるおいを感じられる景観づくりのため、新居浜駅周辺及びシンボルロードにおいて、新居浜らしさを感じられる景観づくりを行う。		・地域生活基盤施設:人の広場 ・高次都市施設:南北自由通路展望デッキ ・高質空間形成施設:モニュメント
その他 ○整備計画の継続的な実施 新居浜市では、平成19年度以降の10か年において優先的に整備すべき事業メニューを整理している。この中で、都市再生整備計画区域に該当する事業メニューについては、平成20年度からの4か年で着実に実施する事業(前期)と、それ以降の5か年で引き続き実施する事業(後期)に仕分け、まちづくりの目標を継承する形で方針に合致する事業を展開する予定である。 ○市民との協働のまちづくり 市民との協働により、にぎわいづくりの核となる総合文化施設(あかがねミュージアム)や民間商業業務施設を積極的に活用し、駅周辺が市民活動の拠点となり、市のエントランスとして成熟したまちになるように努める。 また、平成5年に結成された新居浜駅前地区まちづくり協議会との協働により、土地区画整理事業完了後のさらなるまちの発展に向けた取組を進める。		

都市再生整備計画の区域

新居浜駅周辺地区 第2期（愛媛県 新居浜市）	面積	53 ha	区域	坂井町1～3丁目、松木町
------------------------	----	-------	----	--------------



交付対象事業費	7,558.0	交付限度額	3,023.2	国費率	0.400
---------	---------	-------	---------	-----	-------

基幹事業	事業	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体	交付期間内		交付対象	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費	うち官負担分	うち民負担分	事業費
	道路	新居浜駅南北自由通路	新居浜市	直	L=80m、W=6m	H24	H26	H24	H26	1,249.0	1,249.0	1,249.0	0.0	1,249.0
	公園													
	古都及び緑地保全事業													
	河川													
	下水道													
	駐車場有効利用システム													
	地域生活基盤施設	人の広場、南口広場、駅前駐輪場	新居浜市	直	—	H24	H26	H24	H26	660.0	660.0	660.0	0.0	660.0
	高質空間形成施設	モニュメント、トイレ	新居浜市	直	—	H24	H26	H24	H26	114.0	114.0	114.0	0.0	114.0
	高次都市施設	総合文化施設、南北自由通路展望デッキ	新居浜市	直	—	H24	H25	H24	H25	3,542.0	3,496.0	3,496.0	0.0	3,496.0
	既存建造物活用事業													
	土地区画整理事業													
	市街地再開発事業													
	住宅街区整備事業													
	地区再開発事業													
	バリアフリー環境整備促進事業													
	優良建築物等整備事業													
	住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型												
	街なみ環境整備事業													
	住宅地区改良事業等													
	都心共同住宅供給事業													
	公営住宅等整備													
	都市再生住宅等整備													
	防災街区整備事業													
	合計									5,565.0	5,519.0	5,519.0	0.0	5,519.0

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造 支援事業	総合文化施設	—	新居浜市	直	—	H24	H25	H24	H25	2,031.0	2,031.0	2,031.0	0.0	2,031.0
		—												
事業活用調 査	事業効果分析調査	—	新居浜市	直	—	H28	H28	H28	H28	1.5	1.5	1.5	0.0	1.5
	駅南地区まちづくり調査	—	新居浜市	直	—	H24	H25	H24	H25	5.0	5.0	5.0	0.0	5.0
まちづくり活 動推進事業	まちづくり活動支援	—	新居浜市	直	—	H26	H28	H26	H28	1.5	1.5	1.5	0.0	1.5
		—												
合計										2,039.0	2,039.0	2,039.0	0.0	2,039.0

[illegible]

新居浜駅周辺地区 第2期（愛媛県新居浜市）整備方針概要図

目標	市の玄関口として様々な人の出会いを演出しつつ、地域資源を生かした うおいとにぎわいに満ちたまちづくりを目指す。	代表的な 指標	交流人口	(人/年)	2,231,246	(22年度)	→	2,500,000	(28年度)
			駅周辺満足度	(%)	39	(23年度)	→	50	(28年度)
			駅南側から北側までの 車いすでのアクセス時間	(分)	15	(23年度)	→	2.5	(28年度)
			まちづくり活動実施回数	(回/年)	2	(23年度)	→	6	(28年度)

